

鹿児島

ふれあいネットワーク

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

むろば



赤い羽根共同募金運動がスタート (H22.10.1 タカブラ前)

地域福祉部情報

鹿児島県地域福祉推進大会 …… 2

《地域と共に手をつなぐボランティア》

子育てふれあいグループ

NPO法人自然花 …… 3

のぞく文庫 …… 4

民生部情報

介護福祉士等修学資金 …… 4

長寿社会推進部

第19回シルバー文化作品展 …… 5

ねんりんピック石川大会 …… 6

施設福祉部情報

鹿児島県里親会 …… 7

ねんりん・シルバー110番

転ばぬ先の杖 …… 8

福祉人材・研修センター情報

第13回介護支援専門員実務研修

受講試験 …… 9

ソウェルクラブ会員交流事業 …… 9

なのはな館からのお知らせ

公開講座「草野 仁 氏を迎えて」

…………… 10

介護実習・普及センター情報

12月～3月の介護講座案内 …… 10

《県共同募金会からのお知らせ》

赤い羽根共同募金運動スタート

口蹄疫義援金へのご協力ありがとう

…………… 11

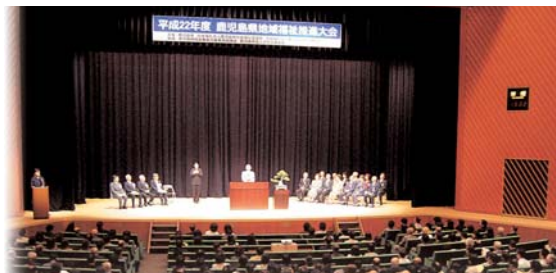
インフォメーション …… 12

平成 22 年度

鹿児島県

地域福祉推進大会

～あんしん・安全に暮らせる地域社会づくり～



平成 22 年度鹿児島県地域福祉推進大会が、平成 22 年 10 月 5 日（火）鹿児島市民文化ホール第 2 ホールにおいて県内の福祉関係者 782 名の参加のもと開催されました。

大会においては、表彰式と特定非営利活動法人あまみ^{つむぎんちゆ}糸人による島唄コンサート、鹿児島大学農学部^{つむぎんちゆ}の鮫島教授による記念講演が行われました。

社会福祉の増進に 貢献された方がたの表彰式



《表 彰》

大会では、永年にわたり県内の福祉の充実のためご尽力をいただいた個人・団体等に対する表彰が行われました。受賞された方がたのご功績とご労苦に対し、深く敬意を表します。

〈県社会福祉協議会会長表彰〉

・表彰状 198 名、10 団体 ・感謝状 1 名

〈県共同募金会会長表彰〉

・表彰状 20 名、7 団体
3 支会分会

〈中央共同募金会会長表彰伝達〉

・感謝楯 1 名、2 団体
・感謝状 2 名、5 団体

いい日、いい日

11月11日は「介護の日」

介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進することを目的として、「11月11日」を「介護の日」としています。

今回の大会でも、介護を必要とする人や介護の仕事をしている人だけでなく、地域に暮らす一人として、社会の一員として、介護について考えるきっかけになるよう「介護の日」のPRを行いました。



アトラクション

「あまみ島唄」 特定非営利活動法人あまみ糸人

島唄コンサートや島唄教室、ボランティアでの福祉施設訪問等により、島唄を通じて気軽に奄美の文化に触れる機会を提供し、奄美の伝統文化の伝承活動と各地の文化との交流活動を行っている「特定非営利活動法人あまみ糸人」によるコンサートが行われました。

蛇皮線とチチン太鼓の伴奏に合わせて「朝花節」や「島のブルース」など全 5 曲を披露していただき、会場は大いに盛り上がりました。

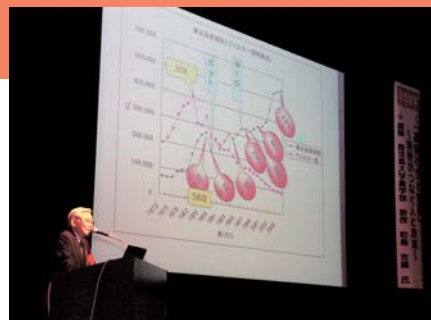


記念講演

高齢社会と焼酎 ～焼酎がつなぐ人と地域～

鹿児島大学農学部焼酎学講座の鮫島吉廣教授から「高齢社会と焼酎」と題した記念講演が行われました。

焼酎産業が鹿児島の産業に与える影響や焼酎の歴史、焼酎がコミュニケーションを図るうえで重要な役割を果たしてきたことなどについてお話をいただき、鹿児島が生んだ焼酎文化の魅力を通じて人と人や地域のつながりについて考える場となりました。



様々な体験活動で、家庭や地域をみなおそう

枕崎市

子育てふれあいグループ

NPO法人 自然花



特定非営利活動法人（NPO法人）「子育てふれあいグループ自然花（じねんか）」は、平成21年11月、枕崎市美山町に子育てに悩む親や不登校の子どもたちに、自然体験や生活体験を通して親子関係を見直し、青少年の健やかな成長を願い発足しました。

活動は、鹿児島県や枕崎市の委託事業のほか親子ふれあい体験事業、子育て相談・不登校支援事業、子育てサロン、学童保育、親子宿泊体験事業、修学旅行生の受け入れ事業、土日体験、一時預かりなど多岐にわたる活動を展開しています。

また施設のある木口屋集落は、高齢化率約67%で1人暮らしの世帯が多く、施設や畑を提供し、農業体験や伝統行事の指導者として活躍され、限界集落のモデルとして注目されています。

1 竹のそうめん流し体験に歓声

鹿児島県及び木口屋集落と協働事業で、平成22年度鹿児島県地域協働の仕組みづくり事業を実施しています。その一環として開催した「自然花七夕まつり」は、たくさんの家族づれが参加しました。

特に集落民の協力で作った孟宗竹「そうめん流し体験」は、竹の香りと豊かな自然環境で作られた水の香りで、大変おいしく生涯の思い出になり歓声が上がりました。



竹のそうめん流し

2 ツリーハウスとつめたーい！沢遊び

「木登り体験」や「やぐら作り」の経験のない、冒険心を失った子ども達のために、手作りの「ツリーハウス」が設置されています。一汗かいた参加者は、木口屋集落の近くにある中洲川の上流で、「猛暑をふき飛ばせ」と、沢遊び体験プログラムに挑戦します。自然の中で経験する感動は、家族や友達との「きづな」を深め、思いやりの心が育まれます。



沢遊び

3 修学旅行生も体験宿泊！

自然花では、枕崎市グリーンツーリズム協議会と連携して、修学旅行生の受け入れによる地域活性化を推進しています。

昨年、関東・関西地区の高校生を7校から受け入れ、からいもやミカンの収穫体験をしました。

夜は収穫した食材でギョウザ等を試食し、鹿児島の農村生活を満喫しました。今年度は20校の生徒を受け入れる予定にしています。



修学旅行生

4 学童保育・子育てサロン

学童保育は、夏休みに桜山小や金山小の児童8名が利用し、子育て支援員3名と夏休みの課題や食事を作り楽しく過ごしました。

子育てサロンは、月に5回開催し、遊具で遊んだり、子育てについて意見交換し、交流を深めています。

子育て相談は随時実施しています。



学童保育

◆問い合わせ先◆

NPO法人「子育てふれあいグループ」自然花

〒898-0071 鹿児島県枕崎市美山町33番地 <http://jinenka.jp>
TEL・FAX 0993-58-1888 代表 大脇 治樹

「布で作った絵本やおもちゃ」を
家庭やグループ、サロン活動に使って！

のぎく文庫*

県社会福祉センター（鹿児島市鴨池新町）の2階出入りに、「のぎく文庫」（代表 岩崎好江さん）の作品が所狭しと並べられています。

作品は、デニムの台布の上に、色とりどりのフェルトで型どった花や動物などの立体的な絵をボタンやテープで付け、移動できる夢いっぱい作品です。

家庭やグループ、福祉施設、サロン活動などで使えます。



夢が広がる布絵本



楽しく語り合う親子

問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会ボランティアセンター

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号（県社会福祉センター内）（TEL099-253-6922）

民生部情報

介護福祉士等修学資金貸付制度のご案内

若い人の福祉・介護分野への参入を促進し、質の高い人材の確保と定着を図るため、介護福祉士又は社会福祉士の指定養成施設（大学等）に入学し、介護福祉士等の資格取得後に鹿児島県内の社会福祉施設等で介護又は相談援助業務に従事する意思を有する方に、修学資金を貸し付けます。

1 貸付対象

平成23年度に介護福祉士又は社会福祉士の養成施設（大学等）に入学する方

※他の公的修学資金（例：日本学生支援機構の奨学金）との併用はできません。

2 貸付限度額

月額5万円（このほか入学準備金20万円、就職準備金20万円）

※2年制課程での例：入学時20万円、月額5万円×24ヶ月、卒業時20万円 合計160万円

3 貸付金利

無利子

4 返還方法

貸付期間の2倍の期間内に月賦又は半年賦で返還

5 返還免除（資格を取得し、次の(1)~(4)の全てを満たすと返還が免除されます）

- (1) 卒業の日から1年（国家試験に不合格の場合等には3年）以内に
- (2) 鹿児島県内において
- (3) 介護又は相談援助の特定業務に従事し
- (4) 以後5年間、当該業務に従事した場合

6 受付期間 平成23年4月中旬～5月中旬（予定）

※入学後に養成施設（大学等）を経由して、鹿児島県社会福祉協議会に申請してください。

問い合わせ先

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 民生部

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7（県社会福祉センター内）

TEL 099-214-3701 FAX 099-214-3812

第19回

シルバー文化作品展



県内在住の60歳以上の高齢者による第19回シルバー文化作品展が9月8日から12日まで、鹿児島市の県歴史資料センター・黎明館で開催されました。日本画、洋画、書、工芸、写真、彫刻の6部門に出品された作品259点の全てが展示され、力強く若々しさにあふれた作品の数々が、訪れた人々の感動を呼んでいました。

とで心身ともにすこやかで、ゆとりある生きがいづくりに役立つよう開催しております。審査は、犬童審査委員長をはじめ七人の審査員によって行われ、「年々レベルアップしてきており、若々しく、また経験を感じさせる作品も多く、独創性も出てきた。」と高い評価でした。

9月12日の今回初めての試みのギャラリートークには、出品者だけでなく沢山の観覧者が参加され大好評でした。その後、黎明館講堂で行われた表彰式には受賞者やご家族などが出席され、栄えある賞を受けられました。



鹿児島県知事賞

入賞作品のうち特に優れた作品は、来年の第24回全国健康福祉祭くまもと大会に出品されることになっています。

入賞者 《敬称略》

鹿児島県知事賞

- 〈日本画〉山ノ口重治 (82)
- 「秋目のアコウ」

寺園勝志賞

- 〈洋画〉池上 俊 (76)
- 「主にみちびかれて」

鹿児島県社会福祉協議会会長賞

- 〈日本画〉重村 敏光 (66)
- 「アランガチの滝」
- 〈洋画〉竹添 悦子 (64)
- 「読 書」

- 〈書〉矢野 久子 (83)
- 「詠 懐」

- 工芸 永吉 喜朗 (71)
- 「組立座机(屋久杉)」

- 写真 東 勉 (61)
- 「兄 弟」

- 彫刻 田上 博明 (72)
- 「おばあちゃんと糸車」

なんりんピック鹿児島メモリアル賞

- 〈日本画〉原口 悟 (84)
- 「独りもの」

- 〈洋画〉藤元美保子 (80)
- 「中学生日記(燃えた日々)」

- 〈書〉寺前 茂 (79)
- 「傳山七絶」

- 工芸 日高 榮次 (64)
- 「夢叶い僧」

- 写真 谷村 鉄馬 (66)
- 「夕暮れの浜辺」

- 彫刻 肝付 満雄 (87)
- 「磯のヴィーナス」

審査委員長賞

- 〈洋画〉渡辺 崇 (76)
- 「むすめ」

- 〈洋画〉水流 静子 (73)
- 「働く農夫」

- 〈洋画〉田中美智子 (73)
- 「漁を待つ」

- 〈洋画〉外前田盛雄 (81)
- 「千座の岩屋から(展望)」

- 〈書〉慶田 依子 (77)
- 「秋浦歌 其十五」

- 〈書〉山元 初江 (82)
- 「河 鹿」

- 工芸 有馬 良一 (77)
- 「猫と戯れる孫」

- 写真 岩重 順一 (70)
- 「装 い」

- 彫刻 宮元 順一 (72)
- 「コジロヤマトリ」

高齢者賞

- 〈日本画〉椛 純子 (85)
- 「喜界島のガジュマル」

- 〈洋画〉小松 尚義 (82)
- 「イセエビの群」

- 〈書〉富山 文枝 (93)
- 「恵みの露」

- 工芸 協園ツタエ (89)
- 「落葉の彩り」

- 写真 井ノ上 繁 (85)
- 「彼岸花」

- 彫刻 瀬戸口 司 (78)
- 「スマイル」

その他、金賞10点、銀賞15点、銅賞15点、奨励賞15点が入賞しました。誠におめでとうございます。

部門毎出品者数

部門	出品数	男	女
日本画	28	17	11
洋画	94	61	33
書	46	12	34
工芸	37	10	27
写真	36	30	6
彫刻	18	17	1
合計	259	147	112



今回は会期がシカン展と重なり、会場が第一・三のみで大分狭くなつてしまいました。出品者の皆様へご迷惑をおかけしたことがお詫びいたします。



ねんりんピック石川2010 鹿児島県選手団180人参加

第23回全国健康福祉祭(ねんりんピック石川2010)は、去る10月9日から12日までの四日間、北陸の石川県で「光る汗! 輝くいしかわ 笑顔の輪」をテーマに開催されました。鹿児島県からは諏訪弘美県社会福祉協議会常務理事を団長に、21種目の競技に監督・選手169人、役員11人の総勢180人が参加しました。

8日の出発日には、鹿児島空港で結団式が行われました。監督・選手はお揃いのユニフォーム姿で式に臨み、県旗の授与、県知事・県議会議員・県社会福祉協議会会長の激励や激励賞の贈呈を受け、最後に水泳の木原千春選手が「私達は、精一杯のプレーをするつもりで、鹿児島を全国の皆さまにPRして参ります」と決意を述べました。

大会初日には石川県西部緑地公園陸上競技場で常陸宮殿下ご夫妻を迎えるの総合開会式があり、あいにくの雨の中本県選手団は旗手(木原千春選手)を先頭に堂々の行進をし、県のマスコットキャラクター「さくらじまん」をあしらったハンカチを頭上に高く掲げアピールしました。また、今回は、

来年開催される「第28回全国都市緑化かごしまフェア」の横断幕を携えて行進し、同フェアのアピールも行いました。

二日目、三日目は各地(石川県下10市3町)で競技があり、本県の選手達は長年の経験と日頃の練習の成果を遺憾なく発揮しました。また、全国の選手との温かい交流、更には北陸の自然や味も堪能し、初参加者からは「こんなに楽しいものとは知らなかった」という声も聞かれるなど、選手達にとっては有意義な大会参加となりました。

なお、今大会でも、関連イベントとして美術展(鹿児島県からは11点出展)、地域文化伝承館、音楽文化祭、シンポジウム等が並行して開催されました。

初参加者からは「こんなに楽しいものとは知らなかった」という声も聞かれるなど、選手達にとっては有意義な大会参加となりました。

なお、今大会でも、関連イベントとして美術展(鹿児島県からは11点出展)、地域文化伝承館、音楽文化祭、シンポジウム等が並行して開催されました。





主な成績
(敬称略)

団体の部

〔優秀賞〕 なぎなた

鹿児島チーム

個人の部

〔準優勝〕 水泳(バタフライ50m・25m) 中村 一良(70)

〔3位〕 水泳(平泳ぎ50m・25m) 松尾 明(77)

〔優秀賞〕 ゴルフ 大田 実角(61)

なぎなた 平山 悦子(63)

〔高齢者賞〕

テニス 小原美加子(73)

ソフトバレーボール 上村 照子(77)

かるた(百人一首) 唐午 正一(80)

《美術展》

〔銅賞〕〔書〕 慶田 依子(79)

次回(第24回)は、「火の国に 燃えろ! ねんりん 夢・未来」をテーマに隣県熊本県で開催されます。



施設福祉部情報

里親になりませんか・・・
あなたを必要としている子どもたちがいます。

鹿児島県里親会

鹿児島県内の里親たちが集まる会です。研修・キャンプ・ミニ集会・総会を通じて、仲間づくりや情報交換を行っています。

ふれあいキャンプ・レポート

8月7日(土)・8日(日)に出水市青年の家で行いました。子ども21名/大人27名 総勢48名の大所帯!!恒例の行事で久しぶりに会った子どもたちの成長にビックリ!昼食のカレーが足りなくなったり、子どもたちの走りについていけなくなったり・・・と、嬉しい悲鳴でした。同じ悩みや、喜びをもつ仲間が、枕を並べ夜中まで話に花が咲くことも・・・楽しい夏の思い出となりました。

研修会の報告

10月27日(水)に県庁の8階大会議室で開催しました。里親はもちろん、施設、各関係機関等、多岐にわたる方々が多数参加しました。午前中は『すべての子にチャンス』という題目で自立援助ホームの三浦先生の講演、午後は里親からの事例報告を行いました。

里親と限定するのではなく、子育てという面からも大変勉強になりました。

里親には次の種類があります。なお、全国の自治体によっては週末里親や季節里親などの制度があります。

- ◆養育里親
- ◆養子縁組里親
- ◆専門里親
- ◆ファミリーホーム
- ◆親族里親



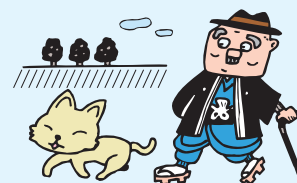
お問い合わせ先

鹿児島県里親会 事務局 [鹿児島県社会福祉協議会 施設福祉部内]

TEL 099-257-3855 (内線410) FAX 099-250-9358

※ 里親制度について詳しく知りたい方は鹿児島県ホームページから次のとおりアクセスしてください。[健康・福祉→青少年・子ども→児童福祉→里親制度の概要] また、里親を希望される方は、お近くの児童相談所へお気軽にご相談ください。

転ばぬ先の杖



はじめに

つい先日のことです。入院患者さんが普段使用しない扉を開けて外に出ようと、階段から転げ落ちて怪我をされました。幸いに打撲だけで済みましたが、大腿骨頸部骨折でも起こしていたら、長い臥床を強いられ寝たきりになられるところでした。

ほっとして透析室に行ってみますと、怪談に出てくる「お岩さん」のように右目の周りが内出血を起こして青黒くなっている人がいました。台所で無理な姿勢で物を取ろうとして転倒したということです。更にその日はどうしたことか、もう一人が左の前頭部にスリ傷を負っていました。畳の上で転んで擦りむいたとのことです。

転倒の原因

三人三様ですがみんな後期高齢者です。1番目の人は少し認知症があり、かねて患者さんが行かない所へ行ってしまわれました。2番目の人は90歳近いご婦人です。特に四肢の機能に障害があるわけではありませんが、無理な姿勢をとってバランスを崩されたのでしょう。3番目の人はパーキンソン病で歩行が不安定なので、かねてから十分注意をしていた方でした。

歩行困難と転倒は、高齢者が寝たきりになり肺炎などを起して死に至る重大な原因です。幼児は転びながら歩行の訓練をしています。高齢者は転倒すると骨折を起こして寝たきりになることが多いです。要介護老人になる原因では、脳卒中に次いで多いのが転倒・骨折だといわれています。

転倒の予防

高齢者が転倒する場合には、高齢者を取り巻く生活環境と身体面に注意する必要があります。

まず生活環境面ですが、足元が暗い、チラチラする縞模様の床、まぶしい反射光がある、透ける階段、濡れた廊下などは要注意です。身体面では、認知能力・視力・聴力の低下した高齢者、パーキンソン病などの人は歩行が不安定で

注意が必要、長期臥床者は起立性低血圧を起こしやすいです。また、食後の1時間や入浴、急速な起立も低血圧を起こしやすく、めまいやフラフラして転倒する危険があります。

高齢者の特徴

骨・関節・筋肉や靭帯などの運動をする器官の病気はもちろんですが、高齢者には「運動器不安定症」といわれる状態があります。これは、高齢化により、バランス能力や移動能力の低下を生じ、閉じこもり・転倒の危険が高まった状態をいいます。

これには簡単な運動機能テストがあります。

(1) 目を開いて片足で立って、15秒間以上立てなかった場合、(2) 椅子から立ち上がり3メートル先の目印を廻って再び椅子に座るまでの時間が11秒以上かかる場合などは注意が必要です。予防には筋力増強訓練を行うと良いのですが、困難なときは毎日ウォーキングを続けるのが良いと思います。

もうひとつ大事なことは、高齢者はたくさんのクスリのご厄介になっています。特に安定剤・睡眠薬・血圧降下薬・糖尿病薬の不適当な使用が最も危険です。かかりつけの医師の指示に従い、決められた時間に決められた量だけ飲みましょう。

おわりに

高齢者が快適な生活を送るには転ばぬことがなによりです。それには次のことに注意しましょう。① 履き物はしっかり自分の足に合った物を使用する。② 階段は必ず手摺りをつかまえて昇降する。エスカレーターの事故も多いのでご注意を。③ 恥ずかしがらずに自分に合った杖を使用することです。そして、寝たきりにならない楽しい生活を送るようにしましょう。そうすることが「転ばぬ先の杖」です。

第13回 介護支援専門員実務研修受講試験について



第13回介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修受講試験が10月24日（日）、全国一斉に実施されました。

この試験は、介護支援専門員になるための実務研修を受講希望する方が、専門員にふさわしい基礎的知識と技能を修得しているかを確認するために行われるものです。本県では、鹿児島県社会福祉協議会が実施し、今年度は、2,735人の受験申込者が奄美会場を含む県下7会場を受験しました。

合格発表は12月10日（金）の予定で、合格者は平成23年1月～3月に予定されている実務研修（前期・後期）を修了することで、介護支援専門員になることができます。

参考

過去の試験結果

年度	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
10～16	21,299	6,557	29.2
17	2,823	556	19.7
18	2,586	405	15.7
19	2,236	410	18.3
20	2,244	376	16.8
21	2,521	441	17.5
累計	33,709	8,745	19.5



【試験会場の風景】

ソウェルクラブ（福利厚生センター） 会員交流事業 ～会員ご家族の思い出づくりのお手伝い～



ソウェルクラブ（福利厚生センター）鹿児島事務局ではチケット販売事業やコンサート、ゴルフ、テーブルマナー教室など多様な会員交流事業を行っています。

会員の方々には、各種事業について割安でご参加いただき大変好評を得ています。

さて、今年の夏は「上海万博ツアー2010」（7月21～24日開催）を実施し、鹿児島県社会福祉協議会溝口宏二会長が団長となり、21人が参加しました。

上海万博では、メインパビリオンである中国館を中心に観覧を行いました。会場の広さ人の多さに圧倒されましたが、世界最大規模の祭典を肌で感じることができました。

その他「豫園」や「朱家角」などを訪れ、中国の明・清朝時代の歴史に触れました。

また、高齢者施設見学を実施し、現地の高齢者の方と交流を深めた他、現地行政職員から上海における福祉事情の説明を受けました。

食事面など文化の違いに驚くこともありましたが、その「違い」を体験できたことはそれぞれの参加者の大きな財産になったと思います。

今年度も後半に向けて、テーブルマナー教室等各種事業を予定していますので、ソウェルクラブ会員交流事業を今後ともよろしくお願いたします。

参加者の声 上海万博ツアー2010

- Aさん（50代：女性）
上海到着後リニアモーターカーに乗ったとき時速431kmに驚いた。また夜のネオンはすばらしかったし、豫園はいい思い出になりました。
- Bさん（20代：男性）
近代化が進む中国の裏側なども見ることができいい体験ができました。
- Cさん（50代：男性）
ガイドも親切で良かったと思います。万博会場でもう少し説明が欲しかったが、旅行全般としてはとても楽しく過ごせました。
- Dさん（40代：女性）
いろんな場所へ行くよりも、一つの場所でのんびりできたらと感じました。しかし、子ども達は、とても喜び「また行ってみたい」と話しておりました。



上海万博中国館をバックにした集合写真

※ソウェルクラブとは、社会福祉事業従事者の福利厚生の充実、向上を目的とした事業を行っています。

問い合わせ先

社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会

福祉人材・研修センター

TEL 099-258-1172（試験事務局）
099-256-6767（ソウェルクラブ）

FAX 099-250-9363（各事業共通）

平成22年度の公開講座は、TBSテレビ「世界ふしぎ発見」の司会者で有名な「草野 仁」氏を講師に迎えて12月5日（日）に開催します。草野氏は現在フリーのアナウンサー、キャスター、司会者、タレント等多岐にわたって活躍中です。最近では全国各地での講演活動にも走り回っておられるそうです。

また、講演に先立って行なわれるアトラクションでは、各種イベントで演奏活動を行なっている地元「指宿高等学校吹奏楽部」の演奏を楽しんでもらいます。曲目は「負けないで」「川の流れるのように」「また 君に恋してる」「篤姫メインテーマ」の4曲を予定しています。高校生たちの元気な演奏にもご期待ください。なお、この公開講座は「すこやか長寿



草野 仁氏

平成22年度公開講座 参加募集

草野 仁氏（テレビキャスター）を迎えて

演題「いつもチャレンジ精神で」

12月5日(日)
13時開演



社会運動」の普及・定着を図るために、高齢社会への関心を深め、県民すべてが世代を超えて高齢社会を支え合う意識を培うために開催するものです。多数のご参加をお待ちしております。

※開催要項

- 1 日 時 平成22年12月5日（日） 13時～15時
- 2 会 場 ふれあいプラザ なのはな館 中央ホール
- 3 対 象 どなたも参加できます
- 4 定 員 400人
- 5 参加料 無料
(ただし入場整理券が必要)
- 6 申込み方法 電話又は、なのはな館受付に直接申し込んでください。
電 話 0993 (27) 1221
FAX 0993 (27) 1220
- 7 受付期間 現在受付中

お問い合わせ先 指宿市東方 9300 番地 1 TEL0993 (27) 1221

12月～3月

介護講座のご案内

講座名	日 時	内 容	場 所	受講料
(一般向け) 地域介護講座 (奄美市)	12月1日(水) 9:50～17:00 12月2日(木) 9:30～16:00	・介護保険の理解 ・福祉用具を使って安心介護 ・食事介助・嚥下障害 ・認知症高齢者の理解ほか	奄美市社会福祉協議会	500円
(一般向け) 地域介護講座 (南九州市)	2月5日(土) 10:00～16:00	・介護保険の理解 ・福祉用具と排泄ケア	南九州市川辺保健福祉センター	500円
(専門職向け) 介護技術特別研修 (排泄ケア総論)	3月24日(木) 13:00～17:00 3月25日(金) 10:00～16:00	・排泄のメカニズム ・おむつの選び方・あて方 ・排泄のケア ・ポータブルトイレ、尿器などの選択	かごしま県民交流センター	4,000円

*申込み方法等の詳しいことについては、鹿児島県介護実習・普及センターへお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター

(運営：社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会)
〒892-0816 鹿児島市山下町 14 番 50 号 (かごしま県民交流センター内)

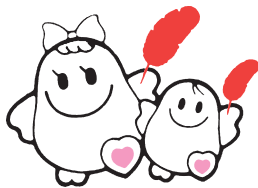
TEL 099-221-6616 FAX 099-239-0384

E-mail kaigo@kagoshima-pac.jp

URL http://www.kagoshima-pac.jp

県共同募金会からの
お知らせ

地域の福祉、みんなで参加



☎ 099 (257) 3750

URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>

じばんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金運動 スタート

今年も皆様のご協力をお願いいたします

「赤い羽根空の第一便」
伝達式

10月1日午前11時から、恒例の「赤い羽根空の第一便」伝達式が、全日空鹿児島支店の協力のもと、鹿児島市天文館通りで開催されました。

厚生労働大臣から託されたメッセージと赤い羽根が県知事と鹿児島市長に、また中央共同募金会会長のメッセージと赤い羽根が県共同募金会会長と同鹿児島市支会会長に、ANAキャビンアテンダントの出水美和子さんからそれぞれ伝達されました。

その後、**花がごしま2011**のマスケットぐりぶー君も参加して、街頭募金活動が行われました。



運動期間中に県民の皆様からいただいた温かい募金は、市町村の社会福祉協議会が行う福祉サービス、お年寄り・障害者・子どもたち等のための民間福祉施設の整備、活動が県下一円を対象とする民間福祉団体の活動ボランティア等グループによる地域福祉活動、町内会・自治会等が実施する周辺地域の安心・安全まちづくり事業、災害被災者への見舞金等へ助成され、地域福祉の向上のために活かされます。

少子・高齢化が進行する社会においてこのような支援の必要性が高まってきております。今年も、地域福祉の充実のため、皆様方の一層のご理解とご協力をお願いいたします

ありがとうございます

メッセージ

「踏み台、椅子をありがとう」

松元上自治公民館（鹿児島市）

松元上自治公民館は館員の多くが70歳を超える方々です。今回、共同募金の助成をいただき、公民館の入口に踏み台と手すりを設置することができ、安全に上り下りできるようになりました。また、椅子も購入しましたので利用者の方々に大変喜ばれています。これを機に館員一同結集し、公民館活動をはじめ、地域の安心・安全を守るために精進してまいります。皆様、ありがとうございます。



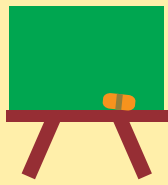
「口蹄疫義援金」へのご協力 ありがとうございます。

4月に宮崎県において口蹄疫が発生し、本県でも、消毒防疫作業や家畜の移動・搬出制限によるセリ市場閉鎖など、畜産農家は深刻な影響を受けました。このため、県と県共同募金会では、県内の畜産農家等を支援しようと「義援金」の募集を行いました。最終的に、約900の個人、企業、団体の皆様、また、このために街頭募金活動をしていただいた方々から48,438,947円の温かい義援金をお寄せいただきました。

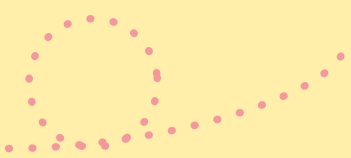
義援金は、県内は勿論、北海道や沖縄県など全国各地から届けられ、中には、直接持参し温かい言葉をかけて下さった方々や、故郷を心配して励ましのお手紙を同封された県人会等々、皆様の温かい心が、事務を行う私達の胸を熱くさせることが度々ありました。

皆様方のあたたかいご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。





インフォメーション Infomation



みなさまのご厚意に感謝いたします。

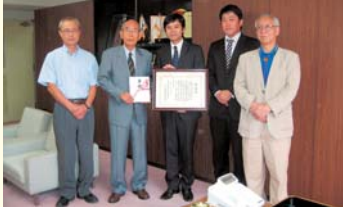
次の方がたから、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。
(平成22年8月～平成22年10月)



○吉ヶ崎 ユキエ 様

○株式会社NTTドコモ 鹿児島支店 様

○鹿児島信用金庫 様



寄付金を贈呈される
鹿児島支店長
森山 幸一 様(中央)、
企画総務部
大串 太郎 様(右から二人目)



吹奏楽部チャリティー演奏会での
益金を寄付される
理事長 後藤 孝行 様(右)

11月11日は「介護の日」です。

10日・11日、県介護実習・普及センターで各種体験・相談ができます。(無料)

○介護食試食コーナー

12:00～
かむ力・飲み込む力が弱くなった方のための
介護食の試食です。 ***なくなり次第終了**

○車いす体験・高齢者疑似体験コーナー

10:00～16:30
車いすの自走・介助やお年寄りの体の動きを
体験できます。

○健康相談コーナー

10:00～16:30
骨密度、血圧や体脂肪率、メタボ、食事改善
等、ご自分の体をチェックしてみましょう

○介護相談コーナー

10:00～16:30
福祉雇員の紹介・相談、介護技術等について、
それぞれの専門家が相談に応じます。
***おむつの試供品も用意**

○自助具制作コーナー

13:30～ 11日のみ
生活を助ける便利な道具(自助具)を手作り
しませんか?
***材料がなくなり次第終了**

お問い合わせ先

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号
(かごしま県民交流センター内)
鹿児島県介護実習・普及センター
TEL: 099-221-6615

社会福祉施設 しせつの損害補償

ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために!

プラン1 施設業務のための補償

- ① 基本補償 (賠償責任保険、傷害保険、動産総合保険)
 - 基本補償(A)は、法人業務中、法律上の賠償責任が発生した場合、包括的に補償
 - 見舞費用付補償(B)は、賠償責任のない場合の見舞金が充実
 - オプション1 訪問・相談等サービス補償
 - オプション2 施設の医療事故補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
 - 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含みます)に補償
- ③ 施設の什器・備品損害補償
 - 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
 - 施設の現金等も補償



プラン2 施設利用者のための補償

- (傷害保険)
- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 施設職員のための補償

- (労働災害総合保険、傷害保険、約定履行費用保険)
- ① 施設の労災上乗せ補償
- ② 施設職員の傷害事故補償
- ③ 施設職員の感染症罹患事故補償

◆加入対象は、社会福祉法人等で運営している社会福祉施設です。

- 全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容
- 団体契約のため有利な補償と割安な保険料(掛金)
- 迅速で丁寧かつ適正なお支払い

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

団体契約者
社会福祉法人
全国社会福祉協議会
〈引受幹事保険会社〉株式会社 損害保険ジャパン

取扱代理店
株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

〈SJ09-08937, 2010/02/19〉

広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。
また、お問い合わせは総務部に受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779
E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp
★この広報紙は、共同募金会の協力を得て発行されています。